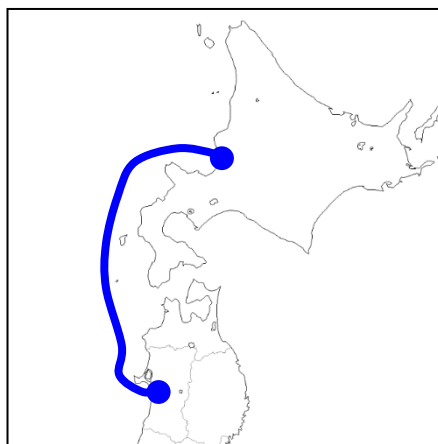


2021年10月28日

## 北海道と秋田県を結ぶ光海底ケーブルの共同建設協定を締結 ～3ルートによる冗長化で通信インフラの信頼性を向上～

NTTコミュニケーションズ（以下 NTT Com）は2021年10月、KDDI株式会社、楽天モバイル株式会社、ソフトバンク株式会社と、北海道と秋田県を結ぶ大容量光海底ケーブル（以下 本海底ケーブル）を建設することに合意し、共同建設協定（以下 本協定）を締結しました。本海底ケーブルは、総延長約 770 キロメートルで、2023 年末の完成を予定しています。最先端の光波長多重伝送方式<sup>※1</sup>を採用することで、160Tbps（テラビット毎秒）以上の設計容量を実現します。

NTT Com は、本協定にもとづき相互連携を図りながら本海底ケーブルの建設を推進し、より安心・安全なネットワークを提供します。



今回敷設のルートイメージ

### 1. 背景

あらゆる業界におけるデジタル化の進展や、新型コロナウイルス感染拡大をきっかけとしたリモートワークの普及などによりトラフィックが年々増加傾向にあり、通信は人々の生活に欠かせないインフラとなっています。

一方、通信を支えるネットワーク設備は地下や海底に敷設されており、地震や津波などの自然災害によってサービス提供に影響を及ぼすリスクがあり、通信事業者にとって BCP 対策や設備の信頼性向上は重要な課題となっています。

このような環境において、NTT Com は、インターネットをはじめとするネットワークサービスを安定的にご利用いただくため、設備の高信頼化に継続して取り組んでいます。

### 2. 概要および特長

本海底ケーブルは北海道小樽市から秋田県秋田市をつなぐ総延長約 770Km の大容量光海底ケーブルです。NTT Com は本海底ケーブルを敷設することで、すでに保有しているルートと合わせて、北海道と本州間で3ルートによる冗長構成をとることが可能となります。

NTTコミュニケーションズ株式会社 広報室  
NTT Communications Corporation Public Relations Office  
〒100-8019 東京都千代田区大手町 2-3-1 大手町プレイスウエストタワー  
OTEMACHI PLACE WEST TOWER 2-3-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8019, Japan  
Tel (03)6700-4010 International +81 3 6700 4010

また、これにより日本全国の主要拠点をつなぐネットワークの3ルートによる冗長構成が実現され、自然災害など、予期せぬ事態においてもさらに安定したネットワークサービスを提供することができます。



日本全国3ルートによる冗長構成

### 3. 今後について

NTT Com は今後も、設備の多重化や冗長化に加え、最新技術とこれまで培ったノウハウを活用し、デジタル化の進展を支える通信インフラの高性能化・高信頼化を推進します。

NTT Com は、事業ビジョン「Re-connect X™」にもとづき、お客さまやパートナーとの共創によって、With/After コロナにおける新たな価値を定義し、社会・産業を移動固定融合サービス・ソリューションで「つなぎなおし」、サステナブルな未来の実現に貢献していきます。

## Re-connect X

<https://www.ntt.com/about-us/re-connectx.html>

※1：波長が異なる複数の光信号を1本の光ファイバーに同時に乗せることにより、ケーブルの大容量化を実現する通信方式です。